こぶしの風

（題字：グース合作　Kさん、美咲さん、拓夢さん、ちひろさん、大気さん）

第14号　平成27年5月10日発行

発　行：社会福祉法人信濃こぶし会

広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1
電　話(0265)35-8511　FAX(0265)35-9016
U R L http://kobushikai.or.jp/
E-mail kobushi@dia.janis.or.jp

ゆうハウスのみなさん

目　次

福祉分野にも構造改革の動き ……2P
法人研修会　念願の車イス対応車両導入 ……3P
春の行事あれこれ ……4・5P
桜花と榊木で収益UP　選挙権行使……6P
ぼっぽアート展　職員の人事異動のおしらせ ……6P
保護者の広場　利用者さんの横顔 ……7P
職員の素顔　職員の横顔　編集後記……8P

書　作：中島克人さん（ぼっぽ）

安心して暮らせる地域をつくるために

管理者が語る今年のこぶし会

福祉分野にも構造改革の動き

理事長 片桐秀人

今年４月、国では報酬改定が行われた。心配していた放課後等デイの単価には大きな変動はなかったのですが、生活介護は厳しい状況が続くこととなりました。戦後50年続いてきた福祉分野も構造改革が行われ、競争原理が持ち込まれてきています。そのため信濃こぶし会もその対応をせざるを得ない状況にあります。

去る２月４日にはこぶし園で、管理者・サービス管理者の合同会議を開き、27年度の目標数値を確認しました。事業ごと目的、年数、事情等が異なっている中ではありますが、法人内で許容できる範囲で目標数値を設定し、その積み重ねの上で法人全体の目標を設定しました。主な目標数値は次のとおり。

- 事業収入は、26年度×1,05とし３億円とする。
- 人件費は、事業収入の60～70%の範囲とする。
- 事務費事業費は、事業収入の15～20%とする。
- 本部負担は、事業収入の５%とする。
- 経常収支相当額、事業収入の７～10%とする。

今年度から当法人も、新社会福祉法人会計基準を適用し、法人一本の会計となります。目標管理がしやすくなったことから、それぞれの事業ごとに管理意識を醸成していく年としたいものです。

げんきに・なかよく・はたらく

こぶし園、第二こぶし園　高本隆光

視察の方々が、こぶし園・第二こぶし園の印象を「利用者の皆さん、元気で明るいですね！」「活気があっていいですね！」といいます。それは、私たちが一番大事にしているモットー「げんきに・なかよく・はたらく」の実践からきています。今年も大事にしていくみんなの合言葉です。このことはそれぞれが力を出し合い、助け合い、ひとつの事柄を成し遂げようとするみんなの努力の証と思っております。

利用者さん、ご家族の皆さん、職員はもとより村内外から応援いただいている多くのボランティアの皆さんなど、年間数多くの皆さんのお力を頂き、元気いっぱいの活力あるこぶし園・第二こぶし園があります。

今年一年、地域の皆さんより頂戴しているご支援に感謝し、大切なモットーを更に高められますよう、関係者一同邁進して行きたいと思います。

ホームは第二の家庭

グループホーム　宮澤孝明

信濃こぶし会の５つのグループホームには、現在27人の皆さんが暮らしています。ホームは正に第二の家庭、皆さんが「安心して、安全な暮らしができること」が何より大切と考えています。

グループホームは、年齢、性別、生い立ちなどの全く違った方たちが、同じ屋根の下で同じ釜の飯を食べているわけです。利用されている皆さんがホームで安らぎ、明日への活力を生み出せるよう、世話人をはじめホームに関わる者全員で取り組んでまいります。

また、ホームには一年を通じて夜間に支援ができる職員を確保するという、なかなか困難な課題があります。これを克服しながら、安定した運営を目指してまいりたいと思いますので、利用者さん、保護者の皆さんからのご意見を遠慮なくお寄せください。

歓迎される支援者に

パドルダック、アイビス、すけっと　池田よし子

信濃こぶし会の中で当事業所は、経験も浅くまだまだ生まれたてです。パドルダック・アイビスは幼児から高校生までの通所支援事業、すけっとは重度の障がいをお持ちの幼児中心の居宅介護事業です。

私たちは先の研修会で学んだインクルージョン理念である「一人ひとりに応じた支援」を実践していきたいと考えております。相談支援事業所あのねっとのサービス等利用計画で本人、家族への支援が明らかになり、個別支援計画が立案されます。年齢、性別、地域、障がいの違いを越えての支援については、スタッフ一同と利用者さんの小集団とで学びあえたらと願っています。

「きょうのスタッフはだれ？」と問われた時に歓迎されるような支援者になること、そしてそれぞれの個性を活かしたチームプレーが発揮できる事業所になりたいと思います。

法人研修会 個別のニーズに合わせた支援を

研修委員会では、平成26年度第二回法人研修会を２月28日に豊丘村保健センターで開催しました。講師には田園調布学園大学教授で、日本基督教団桜本教会伝道師の鈴木文治さんを迎え、演題は「一人ひとりのニーズに応じた支援」ということで、教育・福祉における転換点、福祉の考え方などについてお話いただきました。

先生は、教育と福祉の現場におけるインクルージョン理念を実践し、この理念を広める著書を出版されています。インクルージョンとは民族、言語、宗教、性別、障がいなどの理由で排除するのではなく子どもの個別ニーズに合わせた愛情豊かな教育を目指し、一人一人の違いを祝福し、歓迎するという価値観に基づいている考えのことです。この日は職員など60名が受講し、充実した研修となりました。

飯田市伊賀良出身の先生の著書を紹介します。どの著書にも現実社会で実践されているインクルージョン理念が盛り込まれており、日頃の仕事に、価値観の参考書です。

- ホームレス障害者（日本評論社）
- 学校は変わる（青木書店）
- インクルージョンをめざす教育（明石書店）
- 排除する学校（明石書店）
- 幸いなるかな、悲しむ者（キリスト新聞社）

念願の車イス対応車両導入

グース

このたび日本財団福祉車両整備助成金交付を受けて、車イス対応リフト車（日産キャラバン　チェアキャブ）がグースに導入されました。この車は、車イスのままで４人と他に５人が乗ることができます。３月23日の大安に納車され、３月25日地元の神主さんに来ていただき、安全祈願式を行いました。

新しい車にドキドキ♡初めて身近で見るカラフルな車とリフトがウィ～ンと動くことに、始めのうちはびっくりして少しビクビクしていた子も、今ではお出かけやドライブの時に席の取り合いをするほどに（＾＾;）車両には『グース（goose）』の名前も入れてもらいました。

グースにきて２ヶ月…一躍人気者になったチェアキャブです♪安全に気をつけて楽しく出掛けたり、安心して送迎が出来るよう、大切に乗りたいと思います。

利用者さん喜びの声

塩沢恭平さん

リフトで上がるの、すごく楽しいんだに♪車が見えるだけで嬉しくて笑いが止まりません…

古旗佑月希さん

グースに来た日は必ず「チェアキャブでドライブ行く！」って言うんだ！目の高さで景色が見えて、とっても快適です(^^)

あれこれ

職人顔負け 世界に一枚のピザ グース

卒業進級パーティ
10年間の写真を上映

今年の春休みも恒例のイベントを行いました！卒業進級パーティでは高等部卒業生の利用開始から約10年分の写真をＤＶＤにして上映しました。パーティの合間に懐かしそうに画面を見つめる卒業生の姿…そのうしろ姿と写真を見比べて思わず胸が熱くなるスタッフたちでした。

パーティの最後には全員で記念に写真も撮って新たなスタートをお祝いしました。

かざこし子供の森公園でのピザ作りでは3回目ともなると慣れた手つきで粉からの生地づくり、ふっくら発酵させて、まあるく伸ばしてトッピング…職人顔負けなほど。大きさや厚さなども一人一人違う個性豊かな「世界に1枚のピザ」が焼けました♪みんなおいしそうに頬張りおなかいっぱい☆自分で作った満足感もあり、とても楽しい体験になりました。

その他にもいちご狩りやお花見、チェアキャブの納車式などもありイベント盛りだくさんの春休みでした。

パドルダック・アイビス
卒業、卒園を祝う会

パドルダックとアイビスでは、3月桜の花が咲く頃、卒業・卒園を祝う会を行いました。新6年生が会の進行を務め、お祝いの色紙を手渡し、卒業生からは新生活に向けての抱負を発表しました。

春のおでかけ、またまた電車の旅～伊那～

アイビスの男子グループは自分たちでやりたいことを提案して、「きらりあ」の北澤さんの案内でプラモデルを買い、みはらしファームにて食事と温泉の旅。自分のお小遣いを持参して、計算しながらの買い物に葛藤もありましたよ。

ありのままの～♪カラオケ＆ランチ

夏休み参加しなかったメンバーを中心に、カラオケ＆ランチに行きました。お友達の歌に踊ったり聞き入ったり、カラオケは初めての利用者さんもいましたが、「帰りたくない！」との声があがる程、盛り上りました。

あー、おいし～い！ 幼児さんいちご狩り

地元の名産いちご狩りに出掛けました。温室の中は甘い香りでいっぱい！そして大きく真っ赤ないちごがた～くさん。お昼ご飯も食べられないほどパクパクぺろりといただいてきました。ベビーカーでもゆっくり通れる広い通路は有りがたかったです。来年も行こう！

春の行事

こぶし園 第二こぶし園　鎌倉さん藤さんの料理と演歌を堪能

今年で13回目となる四條流指南役の鎌倉徳雄さんによる和食提供のボランティアが、4月25日に行われました。毎年この時期に、新鮮な魚など約80食の食材を提供してくださります。

今回は、「春の御膳」献立で、鎌倉さんの友人で、釣り名人の熊谷さんが伊勢志摩の海で釣りあげた鯛（桜鯛）を使った、霜降り・鯛めしのほか、時代劇「鬼平犯科帳」で使われた当時の再現料理二品が並びました。

食事の後は、会場を豊丘村の「ゆめあるて」に移動し、松川町在住の演歌歌手・藤和也さんによる歌謡ショーを楽しみました。お二人による『和食と演歌のコラボランティア』は二回目。おいしい食事と演歌を楽しめた夢のひと時となりました。

ヘルパーステーション　お出かけ企画に30人

3月31日はこぶし休園のため、ヘルパーステーション小川が独自の「お出かけ企画」を催し、今年で2回目となりました。

伊那・駒ヶ根方面への総勢30名（含支援員）のミニ旅行です。

昼食は「菜々ちゃんバイキング」で好きな料理をたらふく食べ、午後は甘い香りの北川製菓工場見学♡　お菓子の製作オートメーションに口をアングリ開けながら、工場からの心遣いのお土産ドーナツをいただきパクリッ！

食べ過ぎた後は、公園でそれぞれに遊び、満面の笑みあふれるミニ旅行となりました。来年はどこになるかな？お楽しみに(^_^)/

ぽっぽ　みんなで協力してぼた餅作り

毎年ぽっぽでは3月のお彼岸に合わせてぼた餅作りをしています。

今年は3月10日（火）に行いました。あん・きなこ・ごまの3色ぼた餅を作りました。

ご飯をつぶす人、丸める人、あん・きなこをつける人と皆で協力して出来上がったぼた餅は、3時のお茶の時間に皆でおいしくいただきました。

かわらんべへお花見ドライブ

4月29日（水・祝）川路の「かわらんべ」までお花見ドライブへ行ってきました。

途中、天竜川沿いの八重桜を車中から見て川路へ向かいました。また、一般の方のお庭にもたくさんのお花が咲いていて、色々な花を眺めながらドライブができました。「かわらんべ」で昼食を食べ、食後は散策。お向かいにあるcocoroファームへ寄って少しお買い物も楽しんできました。

「細きよすが」第2報 桜花と榊木で収益UP

農家の高齢化などで休耕畑や田が増えています。そんな中で食用桜「関山」の園地をお借りして施肥・草刈りを行い、「桜花」を収穫・出荷というお仕事をいただきました。

お花見をしながら作業という優雅なお仕事で利用者さんにも人気でした。

もう一つは神事に使う「榊」用の「ソヨゴ」の出荷です。冠婚葬祭やお祭りなどで需要があるわけですが、最近は規定の大きさや形の樹木が少なくなったとのことで出荷の依頼が毎週あります。ソヨゴの林では伐り出すだけでなく、間引きや剪定をして将来的にも継続的かつ持続的生産出荷ができるよう工夫研究しています。ソヨゴも貴重な樹木となりました。

ソヨゴ山をお持ちの方でご提供いただけるとありがたいのですが…。（小椋）

大切な一票 選挙権行使

去る4月12日と26日は統一地方選挙の投票日でした。

グループホームの利用者さんの大部分が選挙権を持っています。期間中に候補者が挨拶に来てくれたこともあり、「○○をお願いしたいからこの人に!!」と決めた方がそれぞれにいたようで、大事な一票を投じてきました。

選挙権の年齢や投票率の低さが問題になっている昨今ですが、有権者の一人として清き一票を大切に考えている利用者さんがたくさんいました。

ぽっぽアート展 是非見に来てね

ぽっぽあーと展を始めて7年。飯田市美術博物館市民ギャラリーでの展示は6回目となりました。この展示は利用者の皆さんが描いた絵、絵手紙、陶芸、書など個性豊かな作品を多くの方々に観ていただきたいという思いがきっかけで始めた作品展です。今は主に「書」（私たちは墨あそびと言っていますが）の作品を中心に飾っています。常設展示をしていただいている「Yuicafe Izumi」さんや、鼎の「吉祥寺」さん、あさぎり茶屋さん、飯田病院の喫茶「ゆいま～る」さんでは、作品を通していろいろな人と出会い、繋がっているように思います。

そして、いろいろな場所で展示をして、知ってもらうことが利用者の皆さんの自信になったり、励みになっているようにも思います。私たちの作品に是非会いにきてください。今後の予定は次のとおりです。

5月　飯田市美術博物館
6月　あさぎりの郷
7月　ゆいま～る
8月　喬木郵便局
9月　笑みの里
10月　かざこしの里

職員の人事異動のおしらせ

【退職】3月31日付　渡辺雅子（グループホーム）

【異動】4月1日付　**ぽっぽ**　大原美恵子（こぶし園）**こぶし園**　安田真由美（第二こぶし園）**第二こぶし園**　伊藤智美（ぽっぽ）片桐緑（本部）

【新採用】昨年11月1日以降　**グループホーム**　宮澤千鶴、本塩直美　小原好枝　**ヘルパーステーション**　山本貴子　代田加代　**ぽっぽ**　木下壽雄　宮崎留美　**パドルダック**　加藤裕美、古田のり子　**本部**　久保田富子

保護者の広場

こぶし園保護者会（こぶし園・第二こぶし園）

かつては保護者会旅行も楽しむ

こぶし会の事業所の中でこぶし園・第二こぶし園は歴史も古く、保護者会の組織も発足当初からあったようです。かつては保護者会旅行などもあり、利用者さんも一緒に旅行を楽しんだこともあったとのことです。

現在の保護者会は以下のような活動を行って、園の運営を支えています。

1 環境整備事業
　園周辺の草刈り　室内清掃
2 ボランティア作業
　アスターや葉牡丹の定植・盆花販売・とよおかまつり出店と販売配達・市田柿作業（柿むき：つるし）・こぶしまつり協力
3 懇親・交流会
　総会懇親会・納涼焼肉会・新年会　など

5月24日に本年度の保護者会総会が開催され、決算・事業報告、予算・事業計画が承認され、新年度の役員（会長：大原裕夫さん・副会長：木林昭芳さん　原春彦さん・会計：萩原信男さん）が決まりました。

利用者さんの横顔

アイビス

白子真梨絵（しろこまりえ）さん

真梨恵さんは、笑顔がよく似合い、明るく朗らかで、年下のお友達を気遣う優しい中学3年生のお姉さんです。泣いている幼児さんがいれば、遠くにいてもその声を聴いて寄り添い「大丈夫よ～」「どうしたのかな」など声をかけてくれます。

そんな真梨恵さんには、仕事、スポーツ、結婚などたくさんの素敵な夢があります。お料理大好き、おしゃれにも気をつかい、お買い物も楽しみに出かけます。もちろん勉強も頑張っています。

今日も元気な声が響き、真梨恵さんの語る夢でみんなが笑顔になります。

第二こぶし園

田中千賀子（たなかちかこ）さん

千賀子さんと言えば、絵が上手な事で有名です。「キャンディキャンディ」のような難しいキャラクターや、職員の特徴をとらえた似顔絵をさらさらっと描いてしまう姿は、圧巻です。こぶし園の加工品のジュースやジャムにも千賀子さんの描いた絵が印刷されていますので、手に取った際にはぜひご覧ください。

園では「農芸班」に所属され、肥料まきや草運びなど身体を使った作業の傍ら、四葉のクローバーを見つけて、幸せも運んで来て下さいます♡

雨の日には、商品ラベル切りやシメジのフタ閉め作業など、手先を使った活動で大活躍です。

休日には、お父さんお母さんとドライブに出掛けたり、好きな絵を切り貼りしオリジナル作品を作ったり、温かい環境でゆっくり過ごされています。

職員の素顔

第二こぶし園
木下由美子

第二こぶし園にお世話になって、2年近くになります。それまで見事にズルイ生活をしていたため、多様な筋肉を使う作業に毎日筋肉痛を覚えた当初でしたが、今では利用者の皆さんとの作業を楽しむ心の余裕さえ出来てきました。

「共同作業所こぶし園」開所当時、私は中学生でした。法人設立時には、「親亡き後」という言葉を聞きました。今は中学生の子を持つ親となり、その言葉の意味を担う立場になりました。

利用者さんの長い人生の中で、私が共に過ごさせて頂いているのは、ごく僅かな時間でしかありません。そんな中にあって、安心の上にある笑顔の時間に寄り添えることに感謝し、長靴と軍手が必須の毎日を、これからも楽しくご一緒させて頂きたいと思っております。

アイビス
伊藤香純

パドルダック、アイビスにお世話になり、早いもので3年が経とうとしています。利用者さんから学ぶ事も多く、自分の思い込みにならないよう周りのスタッフとも連携をとるように心掛けています。

話は変わりますが、子供が妖怪ウォッチにはまっています。利用者さんに「その年齢でどうして妖怪ウォッチに詳しいんだよ！」と鋭い突っ込みをされたのですが、答えは簡単、私も楽しんで見ているからです。昔から漫画や本を読むのが好きです。音楽も好きで、子供とカラオケに行く事もあります。送迎時、利用者さんが歌を口ずさむと、それをきっかけに車内が賑やかになります。リズムをとったり、笑顔になったり…さぁ今日はどんな曲をかけようかな？

職員の横顔

パドルダック
支援員
加藤裕美

4月よりパドルダックでお世話になっています加藤です。池田さんからのお誘いで昨年度4ヶ月間飯田養護学校の支援に入らせていただき、子どもたちの素直で純粋な可愛らしさや、支援の奥深さに魅了されてこの仕事に就くことにしました。

今は毎日利用者さんとスタッフの珍問答？に大笑いしながら有意義な時間を過ごしています。今後は知識や経験が豊富なスタッフの皆さんから色々な事を学び、より良い支援ができるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

グループホーム
世話人・生活支援員
宮澤千鶴

2月より「はぴねす」でお世話になっています。親友よりお話を頂いた時は介護の経験もない私が勤まるだろうかと不安でしたが、利用者さんの笑顔は心が温かくなりました。この仕事をしなければ経験できなかった感動を利用者さんからたくさん頂きました。今ははぴねすに来る日を楽しみにしています。

実生活も21才の長男を筆頭に4人の子供がいます。趣味は親友と食べ歩くこと。愛読書はグルメ雑誌とリバウンドしないダイエット法です。美味しくて、ヘルシーなお店を紹介して下さい!!

こぶし園の裏山、梅の木のある急斜面を登ると「かきっこ公園」があり、公園の展望台に立つと、リニアモーター新幹線の着工予定地が眺望できる。昔の人の交通手段は徒歩が中心で、京都・大阪から、東海道、中山道など街道を利用し、2週間以上かけて東京に到着していた。2045年全線開業予定のリニアモーター新幹線を利用すると、東京→大阪間が1時間7分だという。私たちが子供のころには想像できなかった未来のかたちが見えてきた。しかし、10年後、20年後の未来は誰にもわからない、わからないから、どんな未来にも対応できる力をつけてほしい。より良く生きるため、生き延びるための可能性を広く、高く、かがやきとして残すこと、それが私たちの役割だと考える。（吉村良人）